
楽しい仲間達

fLG03keujg

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

楽しい仲間達

【Nコード】

N9263X

【作者名】

flG03keujg

【あらすじ】

以前テレビ東京系列で放送された『おもいつきり科学アドベンチャー』そーなんだ！』をベースとした作品です。

高校一年生の主人公 高田大輔は期末テストの日、クラスメイトがほぼ全員動かなくなるといふ事態を目にする。その時は時間も止まっていた。謎のメールが来たので家に帰るとなんとゲーム世界に吸い込まれてしまった。吸い込まれた仲間には中学時代週に少なくとも1度は話していた仲の人達が居た。これから先、高田大輔と仲間

達が元の世界の元の状態に戻すためにゲーム世界で色々な事をする
冒険物語。

序章

ある日の朝、私（高田大輔 たかだだいすけ）はなんらかの寂しさを受けていた。それは、3年間を過ごした中学を卒業し、小学校、中学校と続いてきた地元の流れが完全になくなってしまったからだ。高校に入学し新たな友も出来たが、それでも寂しさは消えていなかった。いつしか中学 sick という言葉も出来ていたほどだ。

最近私自身をストーカーする物も出てきている。私自身、精神病になってしまった。

最近、同じ高校に通っていてクラスが違う馬堀君との仲も悪く・
・いいえ、話すのを避けているだけである。体育は一緒だからねえ。
絡まないということはありえないのだ。

同じ高校には坂上君さかがみくんと、兵庫さんが居る。坂上君とは違うクラスなのだが選択科目が同じなので時折絡む。兵庫さんとは同じクラスなのだが中学時代は一度も（正確には微妙に違う）話したことが無かった。

今日はどの高校も期末テストの日。普通に登校しその日のテストを受け終えた時だった。

急におかしな現象が起きた。クラスメートが兵庫さん以外全員急に固まってしまったのだ。寝ているのかと思っただらそうでもないらしい。クラスメートはほとんど全滅しまったのか？ いや違う。時計も止まっていた。極めて重大な事になっていることに気づいた。

なにがあったのだろうか。。。これから大冒険が始まるとは、当時生き残っていた（正確には当時動ける）人は誰も気づいていなかったのである。

その後、今の時点で生き残ったにはメールが届いた。

「今は、全ての時間は止まっている。公共交通手段は全て時間が止まっていない本来の時間で自動運転しているから、今から自宅に戻りなさい。自宅に戻ったらテレビを付けてビデオ1の画面にしなさい。今から3時間以内に自宅に帰らなければ本当にこの世界は滅亡してしまう！それが嫌なら早く帰れ！」とのことである。

今の時点で生き残っている人は何のことだが分からないが帰途に着いた。

第一話 不思議の国へ出発（前書き）

序章では主人公である高田大輔が通っている高校の人物が登場した。ここからは、高田大輔がなんらかの関係で知りあっている人物が登場する。

第一話 不思議の国へ出発

メールを受け取った人は家でテレビを付けてビデオ1にしていた。メールが届いてから3時間経つのを待った。

3時間後、テレビの画面に突然何かが流れてきた。私自身流れてきた曲は聴いたことがある曲だった、番組が始まった。この番組は何かで見ることがあったのでおかしいと感じたが他にテレビはやっていないので見ていたら。。。

突然、テレビの中に吸い込まれてしまったのである。何が起こったのか私自身理解できていない。

辿り着いた場所はどこかの研究室のような所だった。驚いたのは、中3の選択で一緒だった馬堀君ほまれに誉田さんまへだ、前等さんまえとうも居た。

そして、ある放送が流れてきた。

「ようこそいらっしやいました。あなたたちは、これからしばらくの間、この世界で暮らしていただきます。元の世界はまだ時間が止まったままですから戻っても意味ありませんよ。元の世界に戻るには規定数のミッションをクリアしていく必要があります。ここで一つアドバースでも。この世界にはあなたたち以外にもあなたたちの知り合いが居ます。会えば全員誰だか分かる筈です。この世界に居る仲間にはライバルとなりうるかもしれない。その人たちはどこに居るのかはあえて教えません。自分たちで見つけてください。それでは！」

全員が呆れたのは言うまでも無かった。

ここで少し施設の説明をしておこう。

この施設は家事はみんなでやる。近くには市場だつてある。生徒たちは毎日の生活に必要な金が支給される。といっても金は日本の円と同じなのだが・・・

そして、ミッションが発動されたときのためのメカもある。メカは飛行機のような機械で、色々な装備が積まれている。

最初のミッションはこのメカを使い慣れること。このミッションをクリアしないとこれから先のミッションはきつい。

私が一番修得に時間が掛かってしまった。それでも15日程度で慣れることが出来た。みんな優秀だ。といってもみんなは13日掛かっているけどね。

第一話 不思議の国へ出発（後書き）

第二話では実際に本格的なミッションが出されます。さて、これから先どうなるのか？

4人の生活はどうなるのか？

第二話 はじめてのミッション（前書き）

選択というのは実は公民。全員が社会が得意というわけではなく、前等さんは社会が苦手だった。他の人は社会に限れば偏差値60超えは当たり前。時たまには70を超えることすらあったという。勿論今回のミッションは社会から出る。

第二話 はじめてのミッション

不慣れな生活が始まって1週間経った。私は市場に食料の買出しがメインである。市場には大型スーパーは勿論のこと様々な小売店があるから何からなんまで手に入る。

女子2人がメインで料理をする。あれえっ？ 馬堀は何しているの？ 答えは、ゲームで遊んでいるだけというような生活である。

食事の時間。いつも賑やかな食事ではこんな会話が飛び出して来る。

前等「いつ帰れるんだろう？」

私「ミッションっていつ来るんだ？」

誉田「そろそろ来るんじゃない」

馬堀「はあっ？ そんな事するんだったらゲームが（ry」

前等「馬堀君？」

そんな所でミッションが発動された。メカの操縦は私が担当する。なんで最後なの？ と思った方は居るだろう。実は私自身は暇な時間に研究をして

最初のミッションは次の内容だ。

『世界には、多くの国が存在する。私達は、多くの自然の恵みを受けて生活している。この土地は地理の学習をする上で多くの地形が見ることが出来る。ミッションナンバー1 褶曲を見て土を回収してくること。但し、地形図を用いること。』

褶曲とは地層が曲げられた状態にある。これを地形図を使って見てこいというものだった。

私は地形図を使用したことがあるから他の人に伝授する。

私「地形図はどのように使うのかと言うと、まずは定規と分度器を用意してくれ！磁北方位が地図の右下に書かれているからよく見て、90からその数字を引いたところで線を引けば実用可能になるからねー。」

馬堀「高田 それどこで知った？」

私「BS」

前等「へえー 高田君ってBSやっているんだあー」

そんな感じで進んでいった。

道中は歩き。山の中に褶曲がある為山登りをしなければならぬ。勿論、ある程度歩くことに疲れが溜まってきた。少しずつ休憩を取りながら進むことになる。

4時間後 褶曲に着いた。メカは自動転送されている。土を回収しミツシヨンを終えた。

その土は関東ローム層という土だという事が判明した。私達は、ゲーム世界なのに元の世界の土があることを強く実感したのである。

第二話 はじめてのミッション（後書き）

実を言いますと、今回の主な4人の登場人物は全員名前こそは異なるものの実在している人なんです。勿論、作者だつて居ますよ。全員が選択公民というのも事実だつたりする。本当の選択公民は5人いたけどほとんど4人でしたから（笑）そして、社会の偏差値も（爆）

次回はどんなミッションが出るのだろうか？

第三話 宇宙ゴミ（前書き）

更新が長らく停滞してしまいました。というのも、ネタ探しに時間を掛けてしまっています・・・

さて、今回の冒険は 宇宙ゴミという事なんだがこれはどういついつとなのか？

第三話 宇宙ゴミ

なんとかミッションをクリアしてのほほんとしていた。実は前のミッションから今回のミッションまで2ヶ月の間が開いてしまっており、いつ次のミッションが来るのかみんな待ち通しにしていた。

でも何故2ヶ月も開いてしまったのだろうか？

実は、私達4人組以外にも同じ中学の人がこのゲーム世界に入ってしまったのである。序章でも説明しているが、

<急におかしな現象が起きた。クラスメートが兵庫さん以外全員急に固まってしまったのだ。寝ているのかと思ったらそうでもないらしい。クラスメートはほとんど全滅しまったのか？ いや違う。時計も止くまっていた。極めて重大な事になっていることに気づいた。

ということ。つまり、他の人もどんどんゲーム世界に居るのだ。一通り出揃った筈だから新たにゲームがスタートされ、新しい冒険に出ることになる。

宇宙ゴミというのは、宇宙にある使用されていない人工物である。宇宙ゴミを撃退するとかいうミッションではなかったが、私達はとてつもない難題に直面することになる。

今回のミッションは『現在運用中の人工衛星Xと既に運用を終えた人工衛星Yが後5時間後に衝突する軌道になっている。これを回避せよ。また、人工衛星Yは衝突しなかった場合は大気圏に突入するが、この際、望遠レンズが地上に落下してしまう。それを阻止せよ。』

これはかなり危険な内容が含まれている。なぜかという望遠レンズを撤去するという事があまりにも危険だからだ。元ネタを知っている私は（（（；。・）（）ガクガクブルブルしてしまった。でも、他の三人はそんなの知らない訳だから積極的に考える。仕方ないので私も議論に参加した。

衛星Yを捕らえるという意見は全員一致。しかし、どうやって望遠レンズを外すのかという事を議論している内に・・・

なんと宇宙ゴミが衝突した為修理する必要が出てしまった。

男子2名は船外に、女子2名は船内で修理をした。

「左OK」

「右直した。」

「船内直したよ。」

との声がお互い通知される。空気を入れてから船内に戻り方針を決めた。

結果としては、衛星Yを捕まえてそのまま基地に戻り基地で分解して使えそうな部品と使えなさそうな部品に分ける事にしました。

第三話 宇宙ゴミ（後書き）

申し訳ございません。この話を書いているのが朝4時なので大事な所は後で書きます。。。

宇宙ゴミの話は原作にもありません。原作は対決ですがこの物語は1チームですから少し違いますけど・・・

今回は追加として時事ネタを取り入れました。

会話がほとんどありませんが、これは作者が思いつかなかったんです。すみません。

次回も自然科学から行きたいと思います。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9263x/>

楽しい仲間達

2011年12月29日06時49分発行